

令和6年度 学校評価書（学校経営の方針と重点から）

瑞浪市立瑞浪北中学校

（1）重点1 自ら求め、他と切磋琢磨する中で、生きる力を育てる

具体目標	評価	自己評価と学校説明	改善策	学校関係者評価委員会から	評価
<ul style="list-style-type: none"> 一人一人がじっくりと考え、求め「わかった」「できた」が実感できる学習指導 自己をじっくりと見つめる心と、他を深く思いやる心を育てる道徳指導 一人一人の現状やニーズを明確にし、自立に必要な力を育てる特別支援教育 常にキャリア教育の視点を意識し、自己を生かし伸ばす進路指導 互いのよさを認め合い、自他の大切さを認めることができる人権教育 環境に対する興味関心を高め、自分の考えをもち、よりよくしようとする意識を高める総合的な学習 	A	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導においては、昨年度から研修を充実した特別支援の視点で生徒をとらえ、指導の手立てを考えようとする職員の姿勢が、一人一人の学びを支えることができた。また、全校研究会を核にしなが、それぞれの教科の実践を振り返り、生徒の「わかった」「できた」という姿を生み出すことに努めることができた。 総合的な学習については、昨年度から「環境」をテーマとしたが、学年主体の取組となり、全校的な内容の系統性を確認した。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導については、研究推進委員会を中心とした全校的な取組を進めていく。 総合的な学習の「環境」について、他学年との系統など含め、目標、計画を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業参観(1・3年合唱、2年総合)より、生徒同士が声を掛け合い、関わりながら、自分たちで作り上げようとする姿が見られた。 授業では各自がテーマや仮設をもって生き生きと追究している姿や仲間の考えや取組を真剣に聞く姿がほとんどの生徒に見られたことは、素晴らしいことだと思います。 自分で考え、自分の言葉で発言できる力が育っていると思います。 生徒の発表やその他の活動を通じて、自主性を大切にされていることを感じられます。 生徒も先生も地域と関わりたいという姿があり共有できたことがありがたかったです。 1年生の合唱パート別練習(ただ歌うだけでなく、互いに音程、表現、スピードを意識しての自主的な姿が見えました。)先生方には、生徒を一步一步引いて見守り、時に寄り添って細かく指導する様子が見て取れたことがよかったです。生徒が素晴らしい学びの環境にいさせてもらえることに感謝の念をいただいています。 	A

<学校関係者評価を受けての学校の改善策>

- 生徒の学びへの主体性の育成を行ってきた。その成果を学校関係者の方にも評価していただいた。今後も生徒の主体性を育成するための授業研究を進めていく。
- 家庭学習における主体的な取り組みに個人差がある。進路の目標を持たせながら、家庭学習への取り組み方をより具体的に指導して、家庭学習にも主体的に取り組ませるようにする。

重点2 自己決定による継続力・責任感を求め、「たくましさ」を育てる

具体目標	評価	自己評価と学校説明	改善策	学校関係者評価委員会から	評価
<ul style="list-style-type: none"> 自己判断力・実行力を高める生徒指導 一人ひとりの粘り強さが表出する学年・学級経営 困難や失敗、停滞状況に個・集団で立ち向かい、個の力・集団の凝集力を高める特別活動 自治力を育み、まとまりや学校や地域への誇り・愛着を生み出す生徒会活動 	A	<ul style="list-style-type: none"> 今年度は委員会活動の時間も確保し、生徒会執行部、各委員会が主体的に活動する姿が昨年より見られるようになってきた。 来年度、さらに生徒相互に考え、活動する機会を充実させ、生徒の主体性を育てたい。 行事や委員会活動の中で、これまでより生徒の発想で活動を計画、実施できるようになり、登校時のゴミ拾い、能登半島募金など生徒の主体性を発揮させることができるようになってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> CSの活動が活発になると同時に、地域へ開かれてきたので、生徒会活動を地域へ広げること、地域への愛着を育むとともに、地域からの評価を受け、生徒に誇りを持たせたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業では各自がテーマや仮設をもって生き生きと追究している姿や仲間の考えや取組を真剣に聞く姿がほとんどの生徒に見られたことは、素晴らしいことだと思います。 登校時のゴミ拾いと取組と成果は素晴らしいと思います。 ボランティア活動やスクールサポーターを通じて、子供たちの頑張りの姿を聞いています。地域と関わることがその一助となれば、うれしく思いますし、お力になればと思います。 行事を参観させていただく中で、1つ目には、大きな行事ごとに、生徒のまとまり、自主性が高まっていき生徒自身の自信につながっていく姿が見られことが素晴らしいです。2つ目には、行事の後、気が緩みがちになる姿があまり見られないことがとてもよいです。次への目標がしっかりとあるからだと思います。3つ目には、CSと学校職員と生徒が、互いに協働関係を深めていきたいと思いが同じくしたことが、本年、最も得ることだったと考えます。 文化センターで行われた合唱発表会において、各クラスの生徒が短期間で一つとなり歌い上げた姿は素晴らしいと思います。 	A

<学校関係者評価を受けての学校の改善策>

- 活動計画を立案し、活動時間を確保することにより、生徒の主体的な活動を生み出すことができた。今後も同様に時間を確保しながら、活動内容の充実を図りたい。
- 学校運営協議会の協力を得て、地域との関わり方を充実させることができた。地域の方からの評価を生徒たちの自信や誇りにつなげて、さらなる活動の充実を図っていきたい。

重点3 報・連・相を徹底し、生徒の安全安心、命や身体を守ることを最優先する

具体目標	評価	自己評価と学校説明	改善策	学校関係者評価委員会から	
<ul style="list-style-type: none"> ・危機感と最悪事態のイメージを忘れず、生徒の笑顔を守る保健安全指導（染症・熱中症予防・防災対策を粛々と行いながら、状況把握に基づき、迅速な措置をとる） ・迅速かつ親身の対応を心がけ、生徒の不安や悩みに寄り添う教育相談 ・日常的な整理整頓、週3回の清掃活動の充実による環境整備への意識高揚 ・スーパーエコスクールとしての機能の有効活用 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・主幹教諭、教育相談担当、生徒指導、学年主任を中心に、時に養護教諭や特別支援コーディネーターを交えながら、生徒の実態・状況の把握と支援の方向決め、必要に応じてスクールカウンセラーや医療機関等への接続といった対応を行うことができた。生徒指導面も含め、生徒の状況を職員間で共通理解するために、週1回の打ち合わせの前に生徒指導を付けることで、スピード感をもった対応ができるようになってきた。懇談の時間が十分でないとの声を受けて、懇談の時間を十分に取れるように日程調整をしていく。 ・スーパーエコスクールを活用した環境教育について、日建設計による施設説明を今年度も実施し、総合的な学習の時間において取り組むこととしたが、施設を有効活用できていないとの振り返りがあり、今後は成果と課題を精査し、本校でできない活動を創り出していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2年生が「総合的な学習の時間」でスーパーエコスクールをテーマにして、学習を進めた。初年度の取組として、全校を意識した施設・設備の有効活用の在り方について探求し、まとめることができた。 	<p>学校関係者評価委員会から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の経営方針や先生方の姿勢に一人一人の生徒を大切にしようとする姿勢が感じ取れる。 ・よく指導、取組がなされていると感じる生徒の姿を見せていただいた。 ・生徒の健康や安全に対してきめ細かな指導がされていると思います。特に、コロナ等感染症への対応など。・日常的に感染予防対策、衛生面、清掃行う時間を設けることで、中学生として必要な保健衛生知識には役立っている。生徒自身で気をつけていくこと、互いに注意しあうことは続けてほしいと思う。 ・中学生は、心の成長途上でもあるので、不安や悩みを抱えやすい。教職員の負担減のためと、生徒を学校外の社会で守り育てるため、外部の専門家を積極的に入れていってほしい。悩みの傾聴活動であれば、地域の大人でも、寄り添いつつ行っていけると思う。 ・生徒の不安や悩みは誰に話したらよいのかわからない場合が多々あると思います。生徒の状態の把握と懇談を繰り返し受け入れ支援出来たらよいと思います。 	A

<学校関係者評価を受けての学校の改善策>

- ・心の面での支援の必要性についてご意見をいただいた。これまで同様にアンケート等を実施しながら生徒の状況を把握するとともに、SCによる研修で教職員のスキルを高める。また、生徒の状況を見極め、専門家に繋いでいくことを推進し、抱え込まないようにする。そして、生徒の不安等を解消していきたい。
- ・スーパーエコスクールについては、2年生での学習を中心にいき、その効果について実感させていきたい。

重点4 地域の一員としての自覚を高め、主体的な地域連携ができる生徒を育てる

具体目標	評価	自己評価と学校説明	改善策	学校関係者評価委員会から	評価
<ul style="list-style-type: none"> ・主体的な地域との連携による地域の一員としての自覚の向上 ・CS・地域学校協働活動の円滑な運営 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度も学校運営協議会のメンバーを各行事にお招きして生徒の様子に触れていただくとともに、感想を生徒に伝えていただくことで、生徒に「地域の一員である」ことを実感させることができた。 ・学校運営協議会主体で、地域課題と生徒の育成について教職員との意見交流会を実施したり、家庭科や体育の剣道の授業で授業サポーターを派遣していただいたりするなど、昨年以上に生徒と地域の方々との関係を深めることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の学校として運営協議会との連携し、地域の一員として活躍できる生徒の育成を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意図的な学校経営方針により、生徒の目線が地域に向いていると感じられる。 ・今できる地域連携は着実にできてきている。知恵と熱意(住人、教員、親、生徒)で、さらに進められることを楽しみにしている。 ・プロジェクトFの活動や環境学習などを通して地域への貢献や地域を知る活動がされている。 ・プロジェクトフラワー等の活動では、積極的に自分たちで行動していると感じている。 ・CS発足2年目では、大きな前進があったと実感している。CS(地域の代表)と教職員と生徒+保護者、それぞれの視点よりできることをやり、協働関係を深めてこられた。R7年度は、学校から地域へ、「生徒の成長のために、～をしてほしい」「～のサポートをしてほしい」と要望があれば、CSとPTAが協力して実現していきたい。 ・学習発表会(地域課題への提言)へ出席し、生徒の方々が問題点からその要因そして対応策について発表され、地域への関心と地域の人たちとのかかわりを深く感じました。 	A

<学校関係者評価を受けての学校の改善策>

・地域ボランティアへの参加等、地域とのかかわりを推進したことや学校運営協議会と連携した授業づくりに取り組んだことを評価いただいた。今後も学校運営協議会を通して、地域との協働活動の在り方を模索していきたい。